ほ ほ え み パ ー ク

人らしく暮らし応援誌

HOHOEMIPARK

21
03
31

優輝福祉会
広報誌

創立三十周年記念号

ゆうしゃいん CCM にて撮影

01 挨拶
02 沿革
09 座談会
11 地域社会活動
13 ウィズコロナ
14 Topics

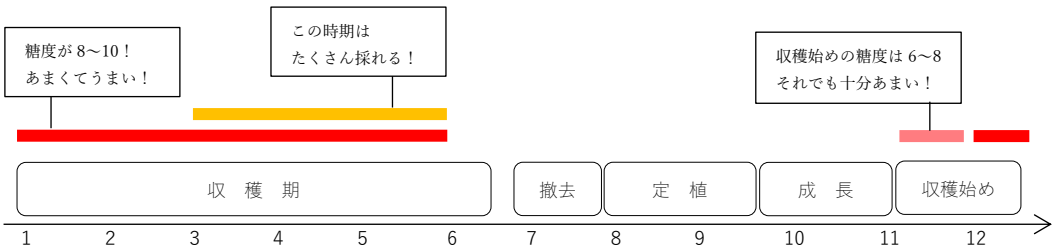
「ほほえみパーク」優輝福祉会開設30周年記念号に寄せて

～ コロナ禍や大規模災害に負けない「丈夫な絆」を結ぼう ～

社会福祉法人優輝福祉会が発足して30年が経過いたしました。それにちなんで、このたび「ほほえみパーク」109 号を記念号として発行することになりました。これまで法人が取り組んできた地域での社会事業や貢献活動から、施設・事業所が日頃行っている行事や様々な出来事の報告、そこで働く職員の素顔の紹介まで、様々なトピックスをより多くの方々にお伝えしたいとの思いから発行を続けてきました。そして、振り返ると「ほほえみパーク」は法人の歴史を物語る大事な「宝物」となっていました。これも、ひとえにこれまで「ほほえみパーク」に寄稿、執筆していただいた地域の関係者の皆様、法人の役職員など多くの方々のご尽力の賜物と感謝しております。この紙面をお借りして厚くお礼申し上げます。

さて、人は目に見えないものや正体がわからないものに対して恐怖心を覚えます。それは太古の昔から人類に備わった身を守るための防衛本能であり、様々なウィルスや自然界の脅威にさらされながらも、厳しい生存競争を人類が生き抜いてきた進化の証でもあります。今回、私たちの日常生活を一変させた新型コロナウイルスも、人類にとっては未知の脅威であり、まさに目に見えない恐怖そのものと言えます。私たち人類はコロナ禍を生き抜くために、もう一つ大切な能力を身に付けています。それは人と人がつながり、協調する力であり、また、これらは人と人を結びつける「絆」とも表現されます。新型コロナだけでなく、今年10年目の節目に当たる東日本大震災や広島県でも甚大な被害となった西日本豪雨災害など、毎年、日本各地で大規模な災害が発生しています。今後30年以内には70～80％の確率でマグニチュード8～9の規模の南海トラフ地震が起きると言われています。私たちは、これから起こるであろう幾多の困難、試練に対して、今から十分な備えをしておかなければなりません。その対抗手段こそ、私たち人類が進化の過程で身に付けてきた人と協調する力であり、皆で連帯する力なのです。お互いの意見や考え方の違いを乗り越え、手と手をつなぎ、力を合わせて「丈夫な絆」を結び、困難に立ち向かって行こうではありませんか。まずは身近な地域や職場の仲間から…。

（ほほえみパーク巻頭言　理事長挨拶）



障害者就労継続 B 型事業所で栽培している「あかまるこ」▶
ご注文は、コージーガーデンへ　0824-66-3555
1 パック（200g）400 円

沿革 TIMELINE

法人設立

1990.12

1991.8

1992

1993

在宅介護支援センター開所

人生の終焉まで自宅で過ごせるよう、一緒に考えます

ユーシャイン配食サービス開

弁当を届けるだけでなく安否確認も行います

高齢者福祉総合センターユーシャイン開所

特別養護老人ホーム

変わらず同じ場所で終焉を迎えたい、看取り体制整備

短期入所生活介護事業所

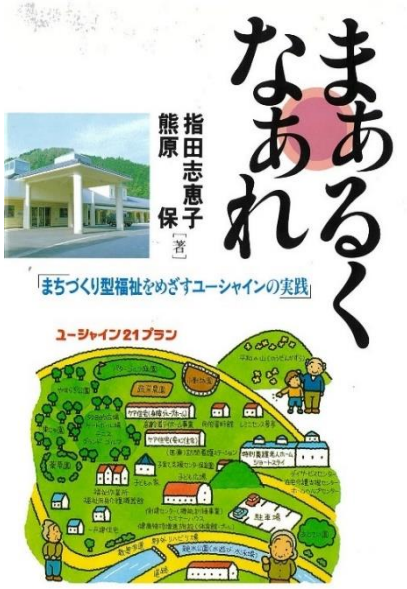
緊急での受け入れ・胃ろう・喀痰吸引が必要な方への体制を

通所介護事業所

柔軟な対応で支援！介護度の高い人でも大丈夫！

訪問介護事業所

家がええ！！人生の終焉まで自宅で過ごすサポート



ユーシャイン２１プランとは…

「あなたが輝けば、わたしも輝く」のユーイズムのもと、平成３年８月１日に、高齢者福祉総合センター ユーシャインは、法人最初の施設として開所しました。

「まあるくなあれ」は、まちづくり型福祉をめざすユーシャインの実践として、平成６年１１月に刊行された書籍です。

その表紙を飾っているのが、ユーシャインの未来に向けて目指していく目標を図解にした、「ユーシャイン２１プラン」です。

平成から、令和の時代となり、ユーシャイン開所以来 30 年が立ち、子どもから高齢者、障がい者まで多くの施設を立ち上げ、ユーシャイン２１プランは、現在も法人の実践として、着実に継続されています。

1994.11 まあるくなあれ 出版

1995.4 夢亭(夢がたりの家)

レミニセンス回想療法

1996.5 永六輔参上

1997.6 トータルケアホームゆう愛

家での暮らしに不安がある、そんな方にとって安心な住まいを提供

障害者支援施設ともいきの里開所

施設入所支援

支援のデパートとして、多種多様なニーズに対応

短期入所事業

里山でのショートステイ。気軽に使って家族も“リフレッシュ”

生活介護

一人ひとりに合った創作活動でやり甲斐と生き甲斐を創造

相談支援事業者ゆうき相談所（2006～）

任せて安心！プロの相談員がベストなプランを提案

認知症対応型共同生活介護事業所

グループホームみら屋開所

「みらみら農園」で四季の野菜を皆で栽培・収穫し、皆で頂く喜びを共有

2000.4 ― 2002.4 ― 2003.4 ― 2004.4 ― 2005.4

特養ユーシャインユニット20床増床

地域でねばる出版

ユニバーサルケアみとう温泉開所

通所介護事業所

運動は薬！美湯はニューヨーク♨でいい気分！食事も旨い！

身体障害者デイサービス事業

ユニバーサルリビング

いざとなったらコールで安心。

ケアハウス吉舎開所

特定施設入所者生活介護

「好きさ 本気さ まごころさ」

利用者様ファーストで暮らしを支える

短期入所生活介護事業所

「好きさ 元気さ よきやどり」ご家族にも息抜きを

通所介護事業所

ご家族と利用者様の笑顔を守るデイサービス吉

通所介護事業所藤原別荘開所

小規模多機能型居宅介護事業所横山旅館開所

小規模多機能型居宅介護事業所

これまでの大切な絆を地元へ繋ぐ

共同生活援助事業所

旅館のような居心地の良い生活を提供する

相談支援事業者ゆうき相談所開所

相談支援事業者の制度ができる前に開所

通所介護事業所藤原別荘廃止して

小規模多機能型居宅介護に

2005.9 | 2006.3 | 2006.6 | 2006.1 | 2006.1 | 2007.2

障害者多機能型事業所みとう温泉開所

生活介護事業所

みんな笑顔で楽しいみとう！

就労継続支援Ｂ型事業所

柔軟対応　地域でねばる！

障害者　訪問介護事業所ユーシャイン始動

居宅介護･行動援護･同行援護

重度訪問介護･移動支援

小規模多機能型居宅介護事業所藤原別荘開所

住み慣れた地域で暮らし,出来る事は本人で！皆に嬉しい支援を提供

小規模多機能型居宅介護事業所
三良坂開所

併設の GH 利用者様と、毎日仲良く足浴やレクの実施

小規模多機能型居宅介護事業所
ゆうしゃいん三次開所

ご本人やご家族の希望に寄り添い、その瞬間を大切にする支援を心掛けている

障害者多機能型事業所
ゆうしゃいん三次開所

利用者様のペースに合わせた豊富な就労メニューで
スモールステップを支援

就労継続支援 B 型
就労移行支援
共同生活援助事業所

笑花開所

就労継続支援 B 型･共同生活援助事業所

ゆうしゃいん三次と笑花の二つの共同生活住居で
その人らしい生活をサポート

2007. 2 | 2008. 4 | 2009. 1 | 2009. 2 | 2009. 4 | 2010. 4

熊原保　理事長就任

小規模多機能型居宅介護事業所
ゆうしゃいん塩町開所

年２回の防災訓練以外に、毎月様々な防災訓練を実施

就労継続支援Ｂ型事業所
コージーガーデン開所

アットホームな接客と
パン･レストラン･あかまるこ
農福連携活動での
美味トマト作業、内職などあり

地域共生型福祉施設　ゆうしゃいん庄原開所

地域密着型小規模特別養護老人ホーム

今は会えなくても第２の家族として笑い･ぶつかり･離れても、心は密に！

小規模多機能型居宅介護事業所

住み慣れた地域で生活。自宅で可能な限り暮らし続けられるよう支援している

共同生活援助事業所

利用者様が地域と共同し、日常生活や社会生活を営むことが出来るよう援助している

福祉ホーム

住宅に困っている方が利用可能。生活上、困ったことはヘルパーさんに相談もできる

ユニバーサルホーム

介護保険のサービスを利用して住み替えが可能。4 階からの景色は爽快

2011.5　2011.11　2012.1　2012.1　2012.3　2012.4

相談支援事業者ゆうしゃいん開所

難しいことは易しく、易しいことは面白く、面白いことは真面目に！将来のことと今できることを一緒に考える

児童デイサービス事業所ゆうしゃいん三次開所

事業所内保育施設のこのこのっこ開所

短期入所生活介護事業所
ゆうしゃいん庄原開所

今は家に帰れなくても皆で一緒に歌って踊って元気 100 倍！愛と勇気は 10000 倍！

定期巡回随時対応型訪問介護看護事業所ゆうしゃいん開所

お家のくらしまるごとケア～あなたに寄り添う出前ケア～

通所介護事業所コージーガーデン
サテライトから単独設置

ゆうしゃいん訪問看護ステーション開所

「家で死ぬ」を当たり前に。24 時間安心訪問看護体制

通所介護事業所コージーガーデン開所
（2020.5～共生型に移行）

手仕事や軽作業を主に行い、レクを共生で楽しむ

障害者多機能型事業所
コアハウス開所（2017.6 移転）

就労継続支援 A 型事業所

仲間と考え、仲間と実践。その中で全力で作業に努めている

就労継続支援 B 型事業所

手間暇かけている手仕事を、まずは来てみて体験を

2013.5 | 2014.9 | 2015.11 | 2016.6 | 2017.7 | 2018.11 | 2019.7

共同生活援助事業所
コージーガーデン開所

開かれた環境の中、各個室にトイレ・風呂・
キッチンを完備。自立型グループホーム

トマト幸場開設（三次市委託）

就労継続支援 B 型事業所

2020.6

ゆうしゃいん CCM開所

短期入所事業所

緊急時や自立生活の練習に。

ホテルに宿泊するように利用可能

共同生活援助事業所

24 時間生活支援員配置で安心、安全な暮らしを提供

障害者多機能型事業所
コージーガーデン開所

就労継続支援 B 型事業所

共生型通所介護

就労移行（2020.5～）

座談会

2021 年 2 月 26 日
コージーレストラン内

CCM オープンから
これまでの生活について

ともいきの里生活支援員
司会:白銀

ゆうしゃいん CCM 生活支援員
田中 由美子

ゆうしゃいん CCM 入居者
昭さん

ゆうき相談所相談支援専門員
司会:名越

ゆうしゃいん CCM 管理者
熊原 晋司

ゆうしゃいん CCM 生活支援員
寄江 亜由美

ゆうしゃいん CCM 入居者
しいちゃん

司　会　まず参加者の自己紹介から。

熊　原　ケアハウス吉舎から CCM の管理者へ、法人内では高齢者系の事業所を中心に勤務していました。

田　中　ともいきの里で 10 年以上生活支援員として知的・精神・身体障害者に日々関わってきましたが、新しい事業所の立ち上げは初めてで、ワクワク状態でした。

寄　江　ともいきの里で 2 ～ 3 年障害者支援にかかわったのち、ゆうしゃいん庄原小規模多機能で高齢者の介護職員として勤務後 CCM へ来ました。高齢者と若い障害者の体力・行動力の違いに高齢者事業所から来た職員はみんな戸惑っていたと思います。

昭さん　53 歳男性。庄原出身ですが、20 年以上広島県南部の病院に入院していました。CCM オープンを機に庄原の近くに戻って来られてうれしいです。

しいちゃん　21 歳女性。同居していたおばあちゃんが高齢になったため、一緒に暮らせなくなり、しばらく県東部の精神科病院に入院していました。入院中に CCM を体験利用したのち、入居しました。

司　会　職員の皆さんからオープンに向けた準備・不安と期待やオープン当初の[まさかのエピソード]などお話ください。

熊　原　まず「どんな人が入居してくるのか」つかめなかったことが一番不安でしたね。事前に入院中の病院や施設へ面会に行きましたが、短時間の面談では生活上の課題は見えてこないので。あと「ほんとに定員 20 人集まるのか」という心配もありましたが、県内の様々な病院・施設を訪問する中、日中サービス支援型 GH に対するニーズが多くあることがわかったので、この心配は解消しました。新型コロナウイルスの影響でオープンから約 1 ヶ月遅れたことや面会制限など今思えば予想外の出来事が色々起こりましたね。

田　中　ハード面では法人内で有志を募り、ワーキングチームを結成して設備や備品の検討を行いました。みんなの意見が採用されて全ての玄関に手洗い場を付けたりと、偶然ですが新しい生活様式に対応した建物になっています。ただ、選んだベッドや特殊浴槽が届いてみると扉から入らなくて分解して部屋に入れるといったハプニングもありました。他の事業所でも同じことがあったので「扉は大きくして」とお願いしていたんですけどね。(笑)

寄　江　周りにフェンスも何もなく玄関も施錠していません。自由に出入りできるので、入居者さんが朝まで帰ってこられなかったり、

県外まで行っておられたり…。多分今まで 5～6 回は無断外出騒ぎがあったと思います。

熊　原　ハプニングが起こる毎に職員で知恵を出し合い、ルールを決めていきました。例えば、夜遅くまでホールで団らんしていたら他の利用者さんから苦情が出たので、21 時になると居室に戻るというルールができたり、門限がなかったのを 21 時に設定したり。　「利用者さんが自分で考え、行動できる」スタンスで話し合って決めています。本当は出来るだけ決まりを作らず、自由と自立を両立した GH にしたかったんですけど。(笑)

寄　江　高齢の方と違った意味で「若い方の学習や成長」を実感しています。オープン当初、問題行動に職員も振り回されたけど、今までの育ち（辛い過去や施設や病院を転々としてきたなど）に寄り添いながら支援しているうちに落ちついた生活を送れるようになってきています。

田　中　そうですね。若い利用者には自分も母親の目線になっていることに気づくことがあります。若い利用者に対して「声かけ勝負」と思ってコミュニケーションの取り方を工夫しています。今までの子育ての経験からちょっと余裕をもって接することもできているんでしょうね。

司　会　日中活動（就労 B や生活介護）での様子はどうでしょう？

田　中　ともいきの短期入所を利用していた 60 代後半の男性は CCM に来て、トマト幸場で楽しそうに働いています。毎朝、生き生きと「行ってきまーす」と言って出ていく姿を見ると、人間「働くこと」「役割があること」がどんなに大事なことか実感します。

寄　江　利用者の障害特性に合った作業や日中の過ごし方をみんなで工夫しています。パンやトマトを入れる袋つくりや､「あかまるこ」として売れないトマトを加工品にするための湯むき作業など。日中サービス支援型グループホームなので、日中も CCM で過ごす方が孤立することがないよう人と交流できるスペースを作ったり、個別の日課を作ったりとメリハリのある生活が送れるよう支援しています。

司　会　世の中、コロナでいろいろ制限がある中でいろんな楽しいイベントをしているとか？

熊　原　利用者も職員も楽しみを作ることが生きるための活力につながると思っています。お互いに気分転換にもなりますし、コロナ禍の今、やりたいことを諦めるのではなく、どうやったら出来るのか工夫して楽しむことが必要なのかなと。オープンして 9 ヶ月間でやってきたことは『夏祭り』『小さな花火大会』『尾関山のもみじ狩り』『初詣』『餅つき』『バレンタインのチョコレートフォンデュ』全部アウトドアですね。(笑) そう言えば利用者からマクドナルドのハンバーガーが食べたいとリクエストがあり、たくさん買ってきてみんなで食べたこともあったなぁ。

田中寄江　日常と違った変化はスパイスとなり、生活を豊かにするのでしょうね。みんなの笑顔が一番！

司　会　これから利用者職員に望むことやどんなことをしてみたいですか？

熊　原　利用者にはやっぱり生活力をつけて自立してもらいたい。

それから地域の住民と交流してみたいし、今後みんなで遠出してみたいなぁ…1 泊旅行とか。

田中寄江　グループホームは夕方みんなが帰ってくる家みたいなもの。やっぱりホッとできる場にしていきたいですね。

司　会　では入居者の昭さん、しいちゃんから CCM に入ってよかったことや感想をどうぞ。

昭さん　実家の近くに住むことができてお母さんの墓参りもでき、天国のお母さんが見守ってくれているような気がします。そして、入院が長かったので買い物ができなかったが、CCM に来て買い物に行ったことが一番うれしかった。自分のテレビや CD デッキを買ったし、工賃をもらって初めてカップ麺を 40 個買えたのも嬉しかった。

それに友達もできたし、毎日夕食を厨房から CCM に運ぶのも僕の仕事になっています。

しいちゃん　体験ではじめて病院から CCM に連れて来られたときは不安でしんどかったので、物を投げたり泣いたりしてみんなを困らせた。CCM に入居してからも時々しんどくなって物を壊したり、下駄箱の靴や本を全部ほおり投げたり大きな声を出してはみんなに迷惑をかけたのもみんな覚えているよ。ごめんなさい。今は「さらちゃん」(本の中のＳＫＢアイドル)がいるから頑張れる。一緒にカラオケや散歩行くのが楽しいよ。

熊　原　しいちゃんが今 CCM で一番頑張っていることは？

しいちゃん　暴れないこと。熊原さんとおばあちゃんと約束している。頑張ったら買い物に行ってサラちゃんに服やお菓子を買ってやれる。これからは 1 泊 2 日の旅行してみたい。海を見に行きたい。焼肉パーティをしたい。目標があるから頑張れるよ。

司　会　みなさん、本日はほほえみパークの取材に御協力いただきありがとうございました。　　（文責　名越）

地域社会活動 - 啓発 -

平成 26 年 12 月 19 日　10:30～15:30

講師：農林水産省　山口　靖他
講演：「地域における福祉の現実に向けた「食・農」の可能性」
主催：農林水産省
基調報告：まち・ひと・しごと創生本部事務局長代理　山崎史郎
講師：農林交流施設「森の巣箱」施設長　大崎　登
　　備北湖域生活活性化協議会理事長　熊原　保
　　NPO 法人地域福祉研究室 pipi 理事長　渡邉洋一
　　島根大学教育学部教授　作野広和
　　農林水産省食料産業局食品小売サービス課外食産業室長　山口　靖
　　厚生労働省社会・援護局総務課課長補佐　佐藤　博
会場：みよしまちづくりセンター「ぺぺらホール」

平成 27 年 12 月 13 日　13:00～17:00

人間が大きく見える里山づくり～地方創成から集落創成～
講師：内閣府地方創生総括官　山崎史郎
　　「里山資本主義」著者　藻谷浩介
　　和田芳治　佐藤　博　松嶋匡史　松場登美　中島浩一郎　熊原　保
会場：三次市民ホールきりり大ホール

平成 28 年 8 月 6 日　18:00～20:00

講演会：「コミュニティワーカーを見つけよう～誰もが安心して暮らせる地域づくり～」
講師：社会福祉法人恵仁福祉協会　高齢者総合福祉施設アザレアンさなだ総合施設長
　　宮島　渡
　　日本社会事業大学　専門職大学院教授　井上由紀子
会場：庄原グランドホテル

平成 28 年 9 月 16 日　18:30～20:00

映画上映：「徘徊」～マリリン８７歳の夏～
監督：田中幸夫　ドキュメンタリー映画
会場：三次市まちづくりセンター

平成 29 年 1 月 10 日　18:30～20:00

講演会：「地域社会活動実践セミナー：幸福感の高いまちづくりを目指す」
講師：一般社団法人リエゾン地域福祉研究所　代表理事　丸山法子
　　昭和女子大学人間社会学部特任教授　北本佳子
　　東京大学高齢者社会総合研究機構執行委員　特任教授　秋山弘子
会場：庄原グランドホテル

平成 29 年 5 月 13 日　18:00～21:00

講演会：「ニッポン一億総活躍社会がもたらす備北の福祉未来像」
講師：厚生労働省社会援護局長　定塚由美子
　　社会福祉法人雄勝会事務局長兼人材育成部長
　　（前厚生労働省地域支援対策専門官）佐藤　博
会場：三次市民ホールきりり大ホール

平成 29 年 12 月 9 日　8:30～12:00

講演会：「第１回　里山福祉研究会ｉｎ広島」
講師：日本総合研究所調査部主席研究員・地域エコノミスト　藻谷浩介
　　NPO 法人地域福祉研究室 pipi 理事長・元青森県立保健大学教授　渡邉洋一
　　社会福祉法人誠友会 アグリの里おいらせ)理事長　苫米地　義之
　　備北地域生活支援協会　備北障害者就業・生活支援センター所長　谷口光治
会場：コアハウス

平成 30 年 8 月 28 日　18:30～20:30

講演会：「あったかい地域の大家族～富山型デイサービスの２５年～」
講師：フローレンス・ナイチンゲール紀章受章 NPO このゆびとーまれ理事長　惣万佳代子
　　NPO このゆびとーまれ副理事長　西村和美
会場：グランラセーレ三次

平成 30 年 12 月 4 日 13:00～16:00

講演会：「コミュニティーワーカーをめざせ！～地域とあなたの元氣な未来づくり～」
講師：株式会社総商さとう代表取締役 佐藤友則
有限会社小川モータース代表取締役 小川治孝
株式会社池田介護研究所代表取締役 池田右文
会場：コアハウス

平成 31 年 3 月 7 日 17:30～21:00

講演会：「リレートークショー～安心した生活と住みやすい地域を創る実践報告～」
講師：社会福祉法人雄勝なごみ会理事長／全国地域包括・在宅介護支援センター協議会研修委員 栗林孝得
特別養護老人ホーム平成園施設長・管理栄養士 栄喜絹子
全国小規模多機能型居宅介護事業所連絡会理事長 宮島 渡
公立学校法人新見公立大学 地域福祉学科長・教授 岡 京子
会場：庄原グランドホテル

令和元年 9 月 16 日 18:00～20:00

講演会：よしもとお笑いライブ＆トークショー
「楽しくなければ介護じゃない！笑いと食べることが一番！」
講演：藩飛札、きゃろっときゃべつ
会場：グランラセーレ三次

令和元年 11 月 4 日 18:00～20:00

講演会：トークショー＆ライブ「楽しんで逝こう」
講師：ふじ内科クリニック院長 内藤いづみ
ライブ：歌おこしキャラバン隊
会場：三次まちづくりセンターペペらホール

ゆうしゃいんのホームページにて面会や利用についての案内を掲載しております。

面会・利用については地域の感染状況によって変化いたします。また、利用されている方・ご家族の状況により配慮させていただく場合がありますので、各事業所にお問い合わせください。

感染症対策委員会

優輝福祉会
法人 30 周年

創立記念パーティー　ウィズコロナ

コロナ禍で法人 30 周年記念行事を開催する

未だ終息の目途が立たない“新型コロナウイルス感染症”の拡大真っただ中、優輝福祉会発足に当たる１２月１３日の通常開催を昨年９月に前倒しする形で法人創立３０周年記念行事が開催されました。３０年という節目に当たる大切な行事を何としても開催したい理事長の決意のもと、感染拡大の要因とも言われる「３蜜」「飲食を伴う会食」を克服すべく課題に対して、外部から来賓や法人役員への迷惑を考慮し、せめてエッセンシャルワーカーの職員スタッフへの感謝と激励の場の確保と機会へと規模を縮小した分散型の小パーティ形式を採っての開催となりました。幸いにコロナの影響もなく無事終了致しました。

会は場所を三次市郊外の当法人が運営するレストラン“コージーガーデン”に移し、なるべく３６５名の職員スタッフ全員が参加出来るようにと、１日２部形式（１部あたり２５名）とし、全７日間に割り振って開催することとなりました。

レストランスタッフと共に感染予防策に努め、特に「換気」と「飛沫防止」、「ソーシャルディスタンス」「大声による会話」などに配慮した会場設営に工夫を凝らし、料理は食中毒予防のためにすべてレストラン内での手作り料理に努めるなど徹底した対策を施しての開催としました。

料理は、ケーキカットを模した寿司ケーキや会席風折り詰め料理、デザート、各種飲物などが振舞われ、大変好評でした。

会の流れは、通常通りに理事長挨拶に始まり、乾杯、永年勤続者の表彰、新人職員の紹介、出席職員一人一人からの抱負などのコメント発表、最後は法人恒例の５本開きで括られました。

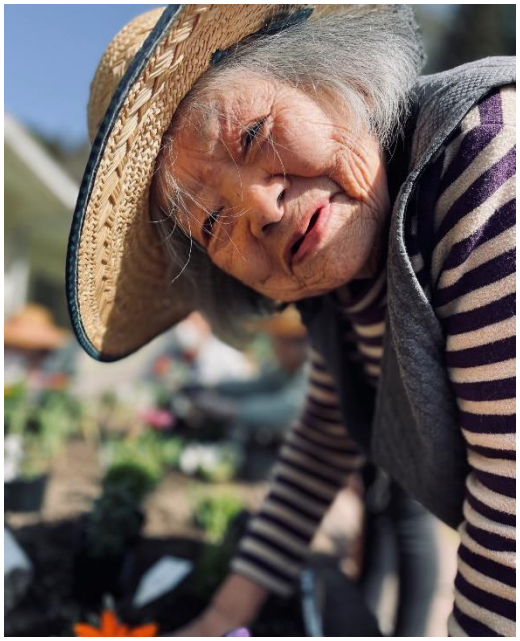
冒頭の理事町の挨拶では、コロナ禍に立ち向かって利用者の安心・安全・安定に力を注ぐスタッフへの感謝と敬意が表され、次いで法人の３０年を振り返り、今では庄原市と三次市を跨いだ１３拠点にまで事業拡大に及んだ紆余曲折の中での発展経緯が克明に紹介され、今後の法人運営は「動から静へ」と時代の変化や社会のニーズを見据え、理路整然と向かうべき決意が述べられ、最後に職員スタッフに対して福祉の担い手の第一線で働く者として、また事業を引き継ぐ次世代の者として職員一人一人が持てる能力を結集し、法人を築いてきたものに手を加えながら、さらなる一歩を踏み出すことへの期待とエールを込めたメッセージが熱く語られました。

また、これらの記念行事の前後には、国から“新型コロナウイルス感染症緊急支援交付金”の支給と２０２０年６月のオープンに漕ぎ着けた「ゆうしゃいん CCM（障害者向け日中サービス支援型グループホーム）」の見学も併せて組み込まれました。（ともいきの里　平川）

↑この“うちわ”は 30 枚あります。30 年間、年度ごとに法人が歩んだ歴史を理事長が記載しております。

入所者と障害サービス利用者が協働で園芸クラブ開催

来年度、高齢者福祉総合センターユーシャインは開所 30 周年を迎えます。



令和3年8月に開所30周年記念イベント開催予定！

◁ユーシャイン入所中の田邊さん（86）。昨年は、自宅で生活していた時、障害サービスの社員さんによく清掃を手伝ってもらっていたという。園芸が始まって社員さんに指示を出し、リーダーシップを発揮される。

△ユーシャイン入所中の福場さん（94）。
園芸中は集中しておられ、ふと顔を上げ、「幸せです」と一言。
みんなでそんな言葉を聞いた時、園芸やって良かったと実感・共有した。
こちらこそ「幸せです」。

◁ユーシャイン入所中の新矢さん（105）。
ユーシャイン入所者で最高年齢である。
自らの手で植物に命を与えるのは何年ぶりでしょうか。高齢になっても命をつなぐ人の心の温かさを感じた瞬間。私たち職員が命をつないでいるようにすべての人は生きている限り命をつなぐ役割があると考える。命をつなぐ実践者は我々だけではなく、ここにいるすべての人たちだ。

優輝福祉会
WELLBEING FACILITIES YUUKI FUKUSHI KAI

あなたが輝けば私も輝く

みとう温泉・ゆうしゃいん庄原にて撮影

発行所：社会福祉法人 優輝福祉会
〒729-4211　三次市吉舎町吉舎 606 番地
Tel：0824-43-3121
Mail :youshine@yuukifukushikai.com
https://www.yuukifukushikai.com
「ほほえみパーク」は、障害者多機能型事業所みとう温泉の「優輝デザイン」において、
障害を持った社員とともに制作した、優輝福祉会の広報誌です。